

施策評価管理シート

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進	担当部局名	部局長名
	施策	1	学校教育	教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 施策の基本方針 Plan

- 夢に向かって主体的に学び続ける子どもの育成を目指して、教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- 持続発展可能な社会の実現のため、E S Dの視点を取り入れた、環境教育、国際理解教育、情報教育等の充実を図るとともに、家庭、地域と連携して特色ある学校づくりに取り組みます。
- 学力・体力の向上、子どもの居場所づくりと絆づくり、途切れない支援等、児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな取組をさらに進める必要があります。
- 「ふるさと学習『なばり学』」の重点項目の活用について研究を深める必要があります。子育て支援研修講座については、休日に開催するなど、誰もが参加しやすい体制を整えることが必要です。
- 教育センターの機能をさらに充実させ、教職員研修や専門的研究、情報提供の充実はもとより、家庭、地域の教育力向上のための研修をさらに充実する必要があります。

2. 現状と課題 Plan

- ・学校の規模・配置の適正化をはじめ、空調設備、学校ICTなど時代に適応した教育環境の充実、中学校給食の導入、学校施設の長寿命化や設備の維持管理など、将来を見据え、計画的に児童生徒の教育環境を充実する必要があります。
- ・「ふるさと学習『なばり学』」の重点項目の活用について研究を深める必要があります。子育て支援研修講座については、休日に開催するなど、誰もが参加しやすい体制を整えることが必要です。
- ・教育センターの機能をさらに充実させ、教職員研修や専門的研究、情報提供の充実はもとより、家庭、地域の教育力向上のための研修をさらに充実する必要があります。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	進捗率
小中学校の教育環境に満足している市民の割合（％）	目標	-	-	-	65.0	
	成果	59.3	56.2	62.4		54.4%
不登校児童生徒の割合（％）	目標	-	-	-	1.10	
	成果	1.27	0.84	0.97		100.0%
通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒のうち、個別的教育計画を保護者の同意のもとに作成している割合（小学校）（％）	目標	-	-	-	28.0	
	成果	14.3	20.4	25.0		78.1%
通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒のうち、個別的教育計画を保護者の同意のもとに作成している割合（中学校）（％）	目標	-	-	-	6.0	
	成果	0.0	2.2	2.3		38.3%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の機会均等や教育水準の確保、教育の質の向上を目的として進めている学校の規模・配置の適正化については、保護者や地域の皆様と十分に協議しながら進めます。 ・計画的に学校施設の維持管理を実施するとともに、教室への空調設備の整備、施設のユニバーサルデザインへの対応など、全ての子どもが安全で、安心して学校生活を送れるよう時代に適応した施設整備を進めます。また、中学校給食の導入に向けた調査研究を進めます。 ・義務教育9年間を通じて子どもの発達に合った学びを市民総ぐるみで実現するため、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組を一体のものとして推進します。 ・ふるさと学習「なばり学」の上巻を刊行します。 ・子育て支援研修講座については、土曜日にも開催し、誰もが参加しやすい体制を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の皆様との協議も踏まえて、規模・配置適正化後期実施計画の一部見直しを行い、説明会や懇談会を開催するなど適正化に向けた取組を進めました。 ・快適な学習環境確保のため、小中学校への空調設備の整備に向けた設計業務を行いました。また、中学校給食センターの整備に向けて関係部署により検討を開始しました。 ・つつじが丘小学校・南中学校を研究推進校とし、小中一貫教育についての調査研究を進めました。また、名張市における小中一貫教育カリキュラム（英語教育、ふるさと学習「なばり学」）を策定するとともに、小中一貫教育についての理解や認識を深めてもらうため、小中一貫教育リーフレット「名張市がめざすコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」を作成し、配付しました。 ・平成28年度・29年度と2年間にわたり、国の補助事業を活用して、コミュニティ・スクールの導入に向けた市の体制づくりを進めるとともに、研究取組校の成果と課題を検証しながら、市内小中学校への学校運営協議会設置に向けた調査・研究を進めることができました。 ・ふるさと学習「なばり学」の上巻を刊行し、平成30年度から市内各小学校で試行できるように配付しました。 ・子育て支援研修講座の3回目を10月14日(土)に開催し、37名の参加がありました。保護者だけでなく、教職員も参加していただきました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

- ・学校の規模・配置の適正化後期実施計画は平成32年度までを目途としており、関係の保護者や地域の皆様と充分協議のうえ、計画を推進する必要があります。
- ・学校生活における快適な学習環境確保のため、空調設備の整備、中学校給食センターの整備を計画的に実施するとともに、建築後相当年数を経過している多くの学校施設の老朽化対策や災害時も視野に入れ、ユニバーサルデザインへの対応を図るなど、全ての市民が安全・安心に利用できる施設整備が必要となっています。
- ・小中一貫教育を導入した南中学校区の他、すべての中学校区に小中一貫教育の目的やねらいの理解を促進し、小中学校の教職員が校種を越えて義務教育9年間の「学び」と「育ち」に係わるという意識を高める必要があります。
- ・コミュニティ・スクールの未設置校への設置及び設置校の取組の充実を目指して支援を推進する必要があります。
- ・平成31年度から使用するふるさと学習「なばり学」の下巻を刊行する必要があります。
- ・平成29年度の子育て支援研修講座の3回目は、土曜日開催としましたが、幼稚園・保育所の運動会と重なったため参加できなかったとの声がありました。学校・幼稚園等の行事と重ならないよう、時期を考慮する必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

- ・教育の機会均等や教育水準の確保、教育の質の向上を目的として進めている学校の規模・配置の適正化について、保護者や地域の皆様と十分に協議し、計画を推進します。
- ・学校の空調設備の整備、老朽化対策やユニバーサルデザインへの対応など安全・安心な学習環境のための施設整備を進めます。また、中学校給食導入に向けた検討を進めます。
- ・他の中学校区への小中一貫教育の導入準備を進めるとともに、つつじが丘小学校・南中学校においては、小中一貫教育アドバイザーを招聘しながら引き続き研究を進め、その検証結果を各中学校区における小中一貫教育の計画的な導入に生かします。
- ・市内全小中学校の学校運営協議会設置に向けて、国・県の補助事業を活用し、準備を進めるとともに、学校運営協議会設置校の取組がさらに充実するように、引き続き支援を進めます。
- ・編集委員会を開催するなどして、ふるさと学習「なばり学」の下巻の校正作業を進め、平成30年度中の刊行を目指します。
- ・子どもに関わる多くの人が参加していただけるよう実施日の工夫などを行い、子育て支援研修講座を開催します。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

空調設備の整備など教育環境の充実を計画的に進めるとともに、学校の規模・配置の適正化後期実施計画については、保護者、地域から十分な理解を得られるよう引き続き努めること。